

〔資料2〕平成30年度第2回総合計画審議会(平成30年11月16日開催)における質疑対応一覧

議事(1) 第2次山武市総合計画(原案)について

通番	委員名	質疑概要	会議時の回答及び現状	質疑への対応	担当部(課)
1	小川真実委員	2-2-1「ごみの減量化・再資源化の推進」再資源化率について、目標値が17.3%と現状値と同じ低い数値となっているが、高めることはできないか。データの取り方は適切か。	再資源化率は、市が処理したごみ量に対し、市が設置するリサイクルボックスを利用した再資源化量を基に算出。近年は民間スーパー等での回収の方に移っている傾向があるが、民間の回収量は把握できないことを説明。 再資源化率の表し方について検討する旨、回答。	再資源化率は、ごみ処理場での直接資源化量に、住民団体による集団回収量と市が設置するリサイクルボックスの回収量を加え算出しています。 現在、市は地域により2つのごみ処理場を利用しており、各処理場の一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の推計に基づき、目標値を18.9%に見直しました。	経済環境部(環境保全課)
2	相原委員	1-2-3「鉄道の利便性」1日当たりの鉄道利用者数について、目標値が減少している。通学者は減少するだろうが、通勤者を増やすとの考えから、利用者数の増加を目標としてもよいのではないか。	市の人口減少に伴い鉄道利用者数が毎年減少していく中では、利用者数の維持を当面の目標値として設定したことを説明。	—	総務部(企画政策課)
3	相原委員	2-1-2「美化運動の推進と不法投棄防止対策」ごみゼロ運動参加者数について、年1回に減少するとの点から、指標値として設定する必要があるか。	検討する旨、回答。	ごみゼロ参加者数を増やすことにより、市民の美化意識の向上を図るため、基準値を平成29年5月実施の参加者数9,925人、目標値を10,000人に見直しました。	経済環境部(環境保全課)
4	相原委員	2-4-4「経営の健全化」有収率【市営水道】について、目標値が現状値よりも下がっているが、水道の有収率を下げる計画というのはあまりないのではないか。	個別計画との整合性から、見え方としては低い目標設定となっていることを説明。 確認する旨、回答。	有収率【市営水道】については、これまで事業認可申請時(H10年度)の数値を目標値としていました。現在は92~93%で推移しており、適切な施設管理により現状値の維持をめざし、目標値を92.7%に見直しました。	水道課
5	相原委員	3-2-3「企業立地と企業定着による雇用の推進」市内事業所数、市内従業者数について、現状維持となっているが、重点分野であり計画は上げていく必要があるのではないか。	生産年齢人口が減少していく中では、増加まで見込むのは難しいと考え、現状維持を当面の目標値として設定したことを説明。	市内事業所数、市内従業者数ともに、平成24年から平成28年の統計データを基に平成34年の見込値を推計したところ減少傾向であるなか、市内事業所数、市内従業者数の現状維持は、人口が減少していく状況において、実質的な向上目標であると考えています。	経済環境部(わがまち活性課)

[資料2] 平成30年度第2回総合計画審議会(平成30年11月16日開催)における質疑対応一覧

議事(1) 第2次山武市総合計画(原案)について

通番	委員名	質疑概要	会議時の回答及び現状	質疑への対応	担当部(課)
6	相原委員	6-4「公正確実な事務の執行」公正確実な事務の執行の満足度について、満足度を下げるのはいかなものか。	目標値は過去の平均から設定したものであり、基準値の平成29年度は高い数値であったことを説明。検討する旨、回答。	指標の推移は上昇傾向ですが、基準値の平成29年度が高い数値であるので、成果の維持向上をめざし、目標値を82.0%に見直しました。	総務部(総務課)
7	相原委員	6-4-1「適正な会計処理」口座振替支払期日における支払不能件数について、目標値は0件にして取り組むべきではないか。	市としても支払不能とならないよう取組を行っているが、年間40件程度は発生してしまうというところで実績に基づいた目標値として設定したことを説明。検討する旨、回答。	口座振替支払不能件数については、PDCAサイクルにより改善を図っていくため、これまでの実績を踏まえた目標設定として成果向上に取り組んでいきたいと考えています。	会計課
8	小川真実委員	6-4-3「監査の充実」監査による指摘事項などの措置率について、100%というのは理論上どうなのか。	本指標については、監査で指摘のあった改善件数に対して、措置・対応を行った件数の割合であることを説明。	—	監査委員事務局
9	神余委員	2-1-2「美化運動の推進と不法投棄防止対策」産業廃棄物不法投棄件数、一般廃棄物等不法投棄件数について、件数が増えているが処理件数ではないのか。	件数は苦情件数であり、目標値は過去の平均から設定している。基準値の平成29年度は少ない状況であったことを説明。検討する旨、回答。	不法投棄件数については、年度により発生件数の増減がありますが、長期的には減少傾向にあることから、不法投棄件数を現状以下に留めることをめざし、目標値を産業廃棄物を4件、一般廃棄物を87件に見直しました。	経済環境部(環境保全課)
10	神余委員	2-5-2「児童・生徒の安全確保」登下校時における児童生徒の事件・事故件数について、目標値は0件にして取り組むべきではないか。事件・事故の発生を容認しているように見えてしまうのではないか。	過去の実績に基づいた目標値として設定したことを説明。検討する旨、回答。	指標の性質上、本来0件とすることが望ましいものですので、事務的にはPDCAサイクルの目標値を設定しますが、計画書では示さないように見直しました。4-4-4「こどもの人権の尊重」児童虐待通告件数についても、前計画と同様に示さないこととしました。	教育部(学校教育課)

〔資料2〕平成30年度第2回総合計画審議会（平成30年11月16日開催）における質疑対応一覧

議事（1）第2次山武市総合計画（原案）について

通番	委員名	質疑概要	会議時の回答及び現状	質疑への対応	担当部（課）
11	小川真実委員	4-3-5「国民健康保険医療費の改善」1人当たりの総医療費について、目標値が増加している理由は年齢の推移によるものか。	人口推移によるもののほか、被保険者の構成によっても変わることを説明。	—	市民部（国保年金課）
12	小林委員	1-3-2「災害支援体制の確立」地域防災計画における災害支援体制7項目の充足率について、備蓄品に乳幼児のミルクや高齢者向けのものも用意してもらいたい。	備蓄品については、乳幼児には粉ミルクやアレルギー用のミルクを用意している。パンも缶入りの柔らかいものもあり、バランスよく取り揃えるように進めていることを説明。	—	総務部（消防防災課）
13	小川真実委員	4-5-3「生活困窮者自立支援の充実」生活困窮者相談件数について、増加の理由は何か。	増加理由としては、高齢化が進んでおり、独居の高齢者も増えていることがある。また、社会福祉協議会と連携し、生活保護の前段階で相談等を行っていることを説明。	—	保健福祉部（社会福祉課）
14	小川真実委員	買い物難民対策として、コンビニと連携したり、地域のスーパーと連携して移動販売などを行ってもいいのではないか。	ご意見として承知。	—	保健福祉部（社会福祉課）
15	進士委員	高校や大学卒業後、社会に出てすぐにドロップアウトしてしまった人たちが、社会保障の手続きがわからず、未手続になってしまっているということをよく聞く。成人式の時であるとか、何かそういったことを教えられる機会があればよいと思うのだが。	成人式では、各部署からの案内をリーフレットで配布しており、年金の案内も含まれていることを説明。 国民健康保険に関しては、案内方法等について、今後検討していきたいと説明。	—	教育部（生涯学習課）、市民部（国保年金課）

[資料2] 平成30年度第2回総合計画審議会(平成30年11月16日開催)における質疑対応一覧

議事(1) 第2次山武市総合計画(原案)について

通番	委員名	質疑概要	会議時の回答及び現状	質疑への対応	担当部(課)
16	今関委員	総合計画として出来上がるときには、目標値設定の考え方であるとかの説明書きは入るのか。	計画書としての冊子には、計画書の見方といった説明のページを用意する予定であると回答。	計画書では、「基本計画の見方」(P44)のページを設け、基本計画の各項目の説明のほか、目標値設定の考え方についても説明しています。	総務部(企画政策課)
17	小川真実委員	5-1-2「『健やかな体』の育成」健康診断で要指導以上と判定された生徒のうち、改善に努めた生徒の割合について、改善に取り組んでいない子が多いようにも見えるので、設定の仕方を考えてはいかがか。	ご指摘のとおりの内容となっている。検討する旨、回答。	健康診断で要指導以上と認められた生徒の割合については、前計画で取組を進めてきた結果、指標値は高水準で推移しています。今後、更に成果向上を図るため、本計画では「改善に努めた生徒の割合」として取り組んでいきたいと考えています。指標名については、「生活習慣の改善に努めた生徒の割合」に見直しました。	教育部(学校教育課)
18	海保委員	1-1-6「まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用」に空家対策があるが、市内には危険な空家が結構ある。いま住んでいる人が、安全でないことを理由に出ていかないためにも、対策をしてもらいたい。	空家対策については今年度空家対策の計画を策定している。その中で、管理不全の空家も調査しており、今後4年間で改善していき、市外からくる方、市内に住んでいる方に住みやすい環境となるよう取り組んでいくことを説明。	—	都市建設部(都市整備課)
19	海保委員	道路整備について、市道だけでなく、県道もあると思うが、いまある道路の整備・管理をきちんと行ってもらいたい。	前計画では「市道整備状況の満足度」といったアンケートによる指標だったが、次期計画では整備した距離を指標とし、実感のある目標設定としたことを説明。	—	都市建設部(土木課)
20	海保委員	数値目標について、実現可能な目標が多く、あまり魅力が感じられない。	—	第2次総合計画の目標値については、人口減少を見込みながら、重点施策以外については、これまでの傾向を踏まえた目標設定を行い、PDCAサイクルにより改善を図っていきたいと考えています。	総務部(企画政策課)